

斬新な発想で新しい上越市へ

学びは世界へ 人の未来へ

■プログラミング小中一貫校を設置します

「特認校制度」を使った「プログラミング小中一貫校」を設置し、日本の最先端の指導者を招聘するなど、「プログラマーは上越から」を合い言葉に最先端の教育を行います。

○教育 ○起業 ○テレワーク ○人口減少対策

まちの魅力発信と財源確保

■ふるさと納税でまちを元気にします

自主財源の確保と上越の魅力を活かした返礼品開発と新販路の拡大。13区など地域に特化した指名寄付を実施します。見守りサービスや体験型返礼品など上越市らしい新たな返礼品づくりにも挑戦します。目標額は10億円。

○産業 ○財源 ○観光 ○ファン増加

まちを魅せる まちを楽しむ

■アクティブスポーツでまちを楽しめます

エンターテインメント型スポーツが楽しめるまちとしての魅力を国内外にアピールします。海でサーフィン・雪山のスキー・スノーボードが楽しめる環境、加えてアクティブスポーツパークでのスケートボード、「スリーS」が楽しめる上越市。大会誘致により観光にもつなげます。※3S(Snow/Skate/Surf)

○スポーツ ○観光 ○ファン増加 ○楽しみがあるまち

ひと中心の歩いて暮らせる街づくり

■中心市街地をリ・デザインします

高田、直江津の両中心市街地に商店街を核にしたまちなか居住やまち歩き観光の視点を加え、歩いて暮らせる街づくりを目指し、リ・デザイン(最適化)します。

○まちづくり ○商店街のにぎわい ○観光

経歴 Nozawa akira Profile / Career

- 昭和32年6月14日生まれ(64歳)
- 新潟県直江津高等学校卒、新潟大学教育学部卒
- 職歴
- 昭和55年4月上越市役所入庁
- 政策審議局まちづくり政策室長、総務企画部合併推進課長
- 企画・地域振興部長、健康福祉部長、教育部長、教育次長などを歴任
- 平成29年7月教育長、令和2年4月 副市長、令和3年5月 辞職

住まい・家族 Nozawa akira Profile / Home・Family

- 住まい
- 直江津市本町3丁目(現上越市中央1丁目)
- 直江津駅前 野澤酒店 長男として生まれる
- 現在は妻の実家である南本町2丁目に居住
- 家族
- 妻、れお(雄猫7歳)と同居 母、娘二人

のざわあきら 後援会

〒943-0804 上越市新光町1-8-8 TEL.025-546-7708 FAX.025-546-7714
E-mail nozawaakira.jimukyoku@gmail.com

SNSで政治活動発信中



のざわあきら 検索



わたしの原点 野澤酒店

後援会入会案内 <https://nozawaakira.com>

さあ進もう。新しい上越市へ

のざわあきら

思い描くのは

このまちに暮らす

すべての人たちとつくる未来



討議資料

新型コロナウイルス対策

ただちに10億円規模の補正予算を!

安心できる予防、治療体制で皆さんをお守りします

- 「上越方式」によりワクチン接種を希望する方々への確実な接種を進めます
- 唾液接種式の市販キットの配布などにより自主的なPCR検査を支援します
- 教室内の換気機能の向上や手洗い所の自動水栓化など小中学校の設備を整えます
- 医師会、病院長会との密接な連携で、感染者への万全の医療体制を堅持します

経済的なダメージを受けている方々への支援を行います

家庭向け

- 経済的に困窮している家庭を支援します。
- 休校等で仕事を休まなければならなくなった保護者に対し、賃金の一部を補填します。

事業者向け

- 飲食業及び宿泊業の皆さんなどを支援する制度を新たに設けます。
- 事業者経営支援金など経済対策の対象範囲を拡大し、再度実施します。

わたしたちも応援しています!



飲食店経営
小堺武尊さん

高田旅館ホテル組合長
岡中正人さん

上越医師会会長
高橋慶一さん



みなさんのいのちと暮らしを守ります 大切にしたい分野と方向性

※9月中旬に12のテーマからなる公約の全体像をお示しします

介護・福祉

県内トップレベルの施設介護体制を維持します。
障害者やご家族が安心して暮らすことができるよう支援します。

教育

児童生徒数が減少する中にも子どもたちの主体性が育まれるよう、学校統合や学校群制度の導入など教育環境の整備に努めます。

農林水産業

地域を活かした産業として持続的に発展するための支援のあり方を検討します。
移住の促進や各種制度の活用により、担い手確保に努めます。

中山間地

中山間地域振興基本条例の精神に基づき、中山間地の生活インフラの整備、維持に努めるとともに、集落機能の低下を補う制度の確立を進めます。

防災・減災

国土強靱化計画など、防災、減災につながる公共事業を計画的に進めます。また、保倉川放水水路事業や儀明川ダム事業など、防災の核となる国県事業の推進を強く求めています。

13区

平成17年の合併時の思いに寄り添い、それぞれの地域の個性を大切にしまちづくりを進め、安心して暮らせるよう支えます。



上越手をつなぐ育成会
山川美香さん

土木技術者
澁谷麻央さん

農家*どぶろく生産者
佐藤健一さん

農家 農家民宿
牛田光則さん